

苫小牧港西港区真古舞地区 国際物流ターミナル整備事業

事業評価に係るバックデータ

事業名	苫小牧港西港区真古舞地区 国際物流ターミナル整備事業
-----	----------------------------

1. 事業概要

構成施設	岸壁(水深12m)、泊地(水深12m)、港湾施設用地、埠頭用地	
事業期間	平成31年度～平成34年度	
事業費	70億円	

2. 費用

	単純合計	基準年における現在価値(C)
事業費	63.7億円	57.5億円
管理運営費等	0.2億円	0.1億円
合計	63.9億円	57.5億円

3. 便益

	単年度便益	基準年における現在価値(B)
①滞船コストの削減	3.2億円	63.3億円
②横持ちコストの削減	1.0億円	18.3億円
③残存価値	1.7億円	0.2億円
合計	5.9億円	81.8億円

4. 結果

費用便益比(B/C)	1.4
純現在価値(B-C)	24
経済的内部収益率(EIRR)	6.3%

5. 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比
需要	滞船隻数:542隻 横持ち貨物:428千トン	±10%	1.6～1.3
事業費	70億円	±10%	1.3～1.6
事業期間	4年	±10%	1.4～1.4

6. 費用便益分析の条件

分析対象期間	50年	社会的割引率	4%	基準年度	平成30年度
--------	-----	--------	----	------	--------

事業名	苫小牧港西港区真古舞地区 国際物流ターミナル整備事業
-----	----------------------------

■事業費内訳

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
工事費				
岸壁(水深12m)	式	1	52	
本體工 他一式	m	230	52	
泊地(水深12m)	式	1	3	
浚渫工	ha	1.3	3	
港湾施設用地	式	1	10	
埋立工 他一式	ha	1.9	10	
埠頭用地	式	1	5	
舗装工	ha	8.1	5	
合計			70	

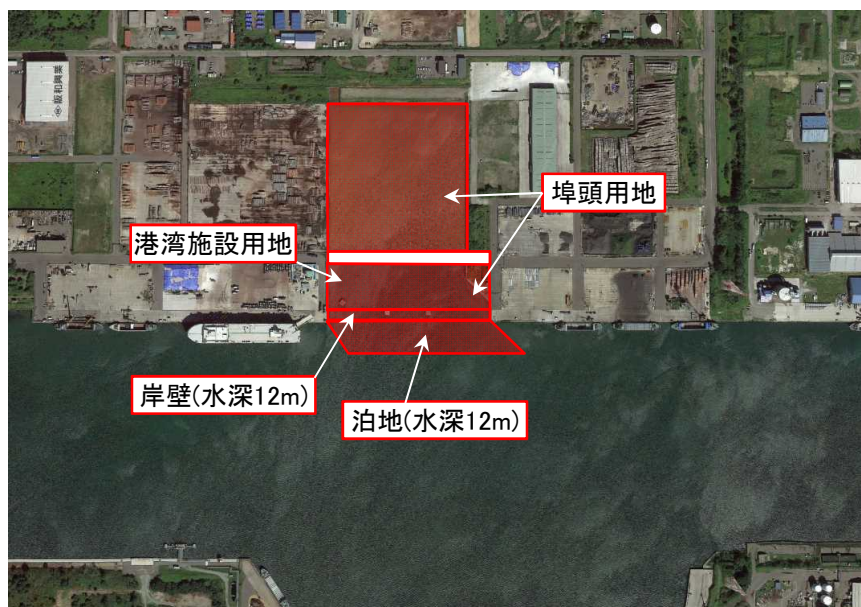
※港湾請負工事積算基準及び類似事業箇所の実績より算出している。

■管理運営費等

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
管理運営費	式	1	0.2	

※港湾管理者へのヒアリングにより算出している。

■概要図



便益計算

①滞船コストの削減

Without (整備なし)	真古舞地区中央北ふ頭利用船舶の滞船が発生
With (整備あり)	岸壁整備により真古舞地区中央北ふ頭及び他ふ頭の滞船が解消

○便益計算

項目	With	Without	備考
a.年間滞船隻数(隻/年)	0	542	H29における滞船実績により設定
b.1隻当たりの滞船時間(時間/隻)	0	16.8	H29における滞船実績により設定
c.滞船費用原単位(千円/時・隻)	35.4		港湾整備事業の費用対効果分析マニュアルに基づき設定
d.年間滞船コスト(億円/年)	0.00	3.22	$a \times b \times c$
滞船コスト削減額(億円/年)	3.22		With - Without

②横持ちコストの削減

Without (整備なし)	岸壁不足により他ふ頭から中央北ふ頭への貨物の横持ちが発生
With (整備あり)	岸壁整備により他ふ頭からの横持ち輸送が解消

○便益計算(貨物の横持ち)(②-1)

項目	With	Without	備考
a.年間横持ち貨物量(千トン/年)	428	428	H29における横持ち実績により設定
b.輸送距離(km)	5.8	12.6	各貨物の貨物量による加重平均距離を設定
c.1台当たり輸送費用(円/台)	6,725	8,192	港湾整備事業の費用対効果分析マニュアルに基づき設定
d.車両台数(台/年)	42,800	42,800	
d.年間横持ちコスト(億円/年)	2.88	3.51	$c \times d$
横持ちコスト削減額(億円/年)	0.63		With - Without

○便益計算(荷役機械の横持ち)(②-2)

項目	With	Without	備考
a.年間移動回数(回/年)	0	11	H29における移動回数実績により設定
b.1回当たり移動費用(千円/回)	0	3,153	港湾工事請負積算基準による
c.年間移動費用(億円/年)	0	0.35	$a \times b$
移動コスト削減額(億円/年)	0.35		With - Without

○合計

②-1(億円/年)	0.63
②-2(億円/年)	0.35
合計(億円/年)	0.97